

平成 27 年度活動結果概要報告



平成 28(2016)年 2 月
男女共同参画推進室 室長
杉田 尚子

平成 25(2013)年 10 月より開始した文部科学省「女性研究者研究活動支援事業」も今年度で最終年度となりました。男女共同参画推進室の活動も 3 年目を迎え、立ち上げ期を経て運営体制が徐々に整備され、実際の活動を継続して成果を出して行く時期を迎えています。

宇宙航空分野では、ロケット開発、衛星運用、追跡管制、宇宙探査などを行う女性研究者(研究員・開発員・教員)は少数でしたが、近年、その割合は増加する傾向にあります。活動開始前の平成 25(2013)年末時点で、当機構における女性研究者の在籍割合と採用割合は 8.7%、13.5%ですが、これらの数値を補助事業期間終了後の平成 28(2016)年 3 月には 12%以上、18%以上に増加する目標を掲げています。本事業は補助金事業のプログラム名称が示すとおり、女性研究者の研究活動支援が主目的ですが、JAXA においては組織的な包括的・効果的な支援を目指し、男性研究者、事務系職員も含む全職員を対象にしています。このため、現在の常勤職員に占める女性割合(15.8%)、女性管理職割合(3.4%)の向上も事業目標に含んでいます。採用や管理職登用における女性割合の向上については、単なる数字合わせのポジティブ・アクションではない、実力を伴うメリット・システムの構築が重要との認識に立ち、女性研究者については特に、リーダーシップの発揮に向けて、効果的な研究資金獲得力、マネージメント力を高めるための支援策を講じてまいりました。

このため、初年度より、置き去り感や不公平感のない、ニーズに応じたきめ細かい支援を行うこととして、全職員を対象に(1)安心して出産・子育て・介護を行える環境の整備、(2)働き方の見直しによるワーク・ライフ・バランスの実現を推進してまいりました。また、特に数の少ない女性研究者の支援として、(3)研究開発力・組織マネージメント力の向上と能力発揮、(4)採用・登用の拡大、意識啓発、(5)女性ロールモデルの見える化と女子学生・院生との交流機会の拡大を図っています。さらに、産学官連

携や国際的な取組として、(6)内外連携の推進、相互協力ネットワークの形成を進めております。

本事業の推進に当たっては、効果的なPDCAはもとより、JAXAの最先端のプロジェクト・マネジメント経験を生かし、スコープ、タイム、費用、品質、リソース(人・物・資金・情報)、コミュニケーション等の分野を統合的に進捗管理し、マイルストーンごとの成果が明確かつ社会的価値の高いものになるように努めております。

本報告書では、平成27(2015)年4月から28(2016)年2月までの11カ月間の成果を取りまとめました。

本期間においては、昨年度までの取り組みを振り返り、対策が遅れている項目についてチームを設置して重点的に取り組みました。その結果、昨年までの成果を継続しつつ、新たな成果を生むことができました。成果としては大きく4つが挙げられます。

1 つ目は数値目標達成のため、採用登用に関わる取り組みを全社的に展開し、課題であって教授相当の採用を実現したことです。JAXAの管理職比率は平成26(2014)年度末の段階で未だ6%以下と低く、意思決定できる部門への女性参画が求められていました。男女共同参画推進室から人材育成委員会を通じて改めて数値目標を共有し、女性登用の必要性を伝えることにより、平成27(2015)年10月に2名の教授相当の採用が実現しました。同時に女性監事の採用があったことも大きな変化でした。採用比率においては、数値上目標を達成できないという状況にはなりませんが、航空宇宙分野全体の女性が少ないという状況の中で、新卒採用では一定の女性採用があり、女性の在職比率も年々増加しているという実態が把握できましたので、継続的な女性管理職登用、次世代育成を進めて行くことで将来的な数値改善の見通しが立てられることもわかって来ました。

2 つ目は制度の拡充です。男女共同参画推進室等で実施してきたアンケート調査から職員の声を反映し、平成27(2015)年8月より子育てに関する制度の利用期間を小学校入学前から小学3年生までに引き上げることができました。また、フレックスタイトム制度の利用者拡大、在宅勤務制度の一部導入も平成28(2016)年4月に開始できるよう準備が進められている状況です。

3 つ目はグローバルメンタリングの活動を実施したことです。昨年度までに実施してきた航空宇宙分野の男女共同参画に関する海外連携のネットワークを利用し、平成27(2015)年11月16日にの海外のメンター迎えたをグローバルメンタリング研修を実施し、参加者にメンタリングの必要性を認識していただくことができました。社内のメンター制度の導入にはまだ至っていませんが、具体的な活動を実現できたことは大きな一歩です。また、主要な宇宙活動国では初めて女性の宇宙機関長となった独航空宇

宙センター イーレンフロイント長官と女性研究者を中心とした女性職員との意見交換も実施予定です。

4 つ目は介護に関する取り組みとして、セミナーの実施とハンドブックの作成を行ったことです。平成 27(2015)年 10 月 7 日に実施した第 2 回介護セミナーでは各事業所からの出席者を合わせて 98 名という参加者があり、介護に関する職員の関心の高さが浮き彫りとなりました。男女共同参画推進室で実施したアンケート調査でも現在介護を実施している職員は 10%と少ないですが、50%近い職員が将来介護をする可能性があると回答しています。介護については、今後顕在化する課題であることは明白であり、セミナーによる予備知識やハンドブックの活用などといった事前対策が介護による離職者を減らすために重要な活動であることがわかりました。

これらの成果に加えて、今年度の活動の中で新しく取り組んだこととしては、育児休業に入る職員が職場復帰しやすい環境を作るための育児休業復帰支援、働きやすい職場にするためのIT活用を含めた環境整備の検討が挙げられます。特に働きやすい職場への変革に対しては、先進的な取り組みをする外部企業の活動を教えて頂く意見交換を実施したことにより、新しい知見を社内に持ち込むことができました。

子育て支援と研究開発力向上の取り組みは昨年度までに構築した支援の基盤を利用して実際の支援を行う段階にありましたが、PDCAを重視し、来年度以降の活動継続の必要性の検討を行いました。

今年度の活動を通じて、3 年間の「女性研究者研究支援事業」全体としては、設定した事業計画に沿った各活動を遂行し、数値目標の達成、制度や環境整備など、形に残る成果を出すことができた部分が多いと考えておりますが、個々の項目についての検討結果からはより引き続き改善すべき事項が浮き彫りとなっており、また、活動の範囲も全社的には至っていない面も多く見られます。これらの課題と、新に設定された女性活躍推進法に基づく数値目標設定や社内の働き方改革の活動を統合的に捉え、次年度以降の男女共同参画に係る新しい活動形態を提案することも、男女共同参画推進室の重要な役割と認識し、現在取り組んでいる状況です。先進的に取り組んだ男女共同参画推進室の 3 年間の活動が、定常的な活動へと引き継がれ、JAXA全体が男女ともに働きやすい職場へと変わって行くことを期待しています。

皆様におかれましては、是非、本報告書、そして、本年度に立ち上げました男女共同参画推進室のホームページをご高覧をいただき、今後の当室の取組の一層の推進に向けてご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

【活動の目的・体制】

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は平成 25 年度より文部科学省の「女性研究者活動支援事業【一般型】」に参加し、平成 25 年 10 月に男女共同参画推進室を設置し、男女共同参画を推進する活動を実施している。平成 27 年度は、3 年間の「女性研究者活動支援事業【一般型】」の最終年度として事業計画に沿った活動を進めると共に、重点的に取り組む課題に対してチームを結成し集中的な対応を実施した。以下、平成 27(2015)年 4 月～平成 28(2016)年 2 月上旬までの成果を記述する。

1.1 活動の目的

理事長のリーダーシップのもと、支援室を設置し、専任のコーディネーターを配置する。「人材育成委員会」において、採用・登用促進のための数値目標の設定、基本方策等の策定等を行うとともに、PDCA サイクルで進捗状況のフォローアップを行う。具体的な活動として、①育児・介護期間中の研究者を擁するチーム等のパフォーマンス維持のための支援員の配置(延べ年間5名程度)、②フレックス・短時間・在宅勤務や復帰支援の制度整備、③夜間・休日保育、病児・病後児保育、学童保育のためのサポート制度の活用、④研究開発力向上のためのメンター活用・研修、⑤男女共同参画の意識啓発セミナー、⑥女子学生等を対象にした進路支援等を行う。

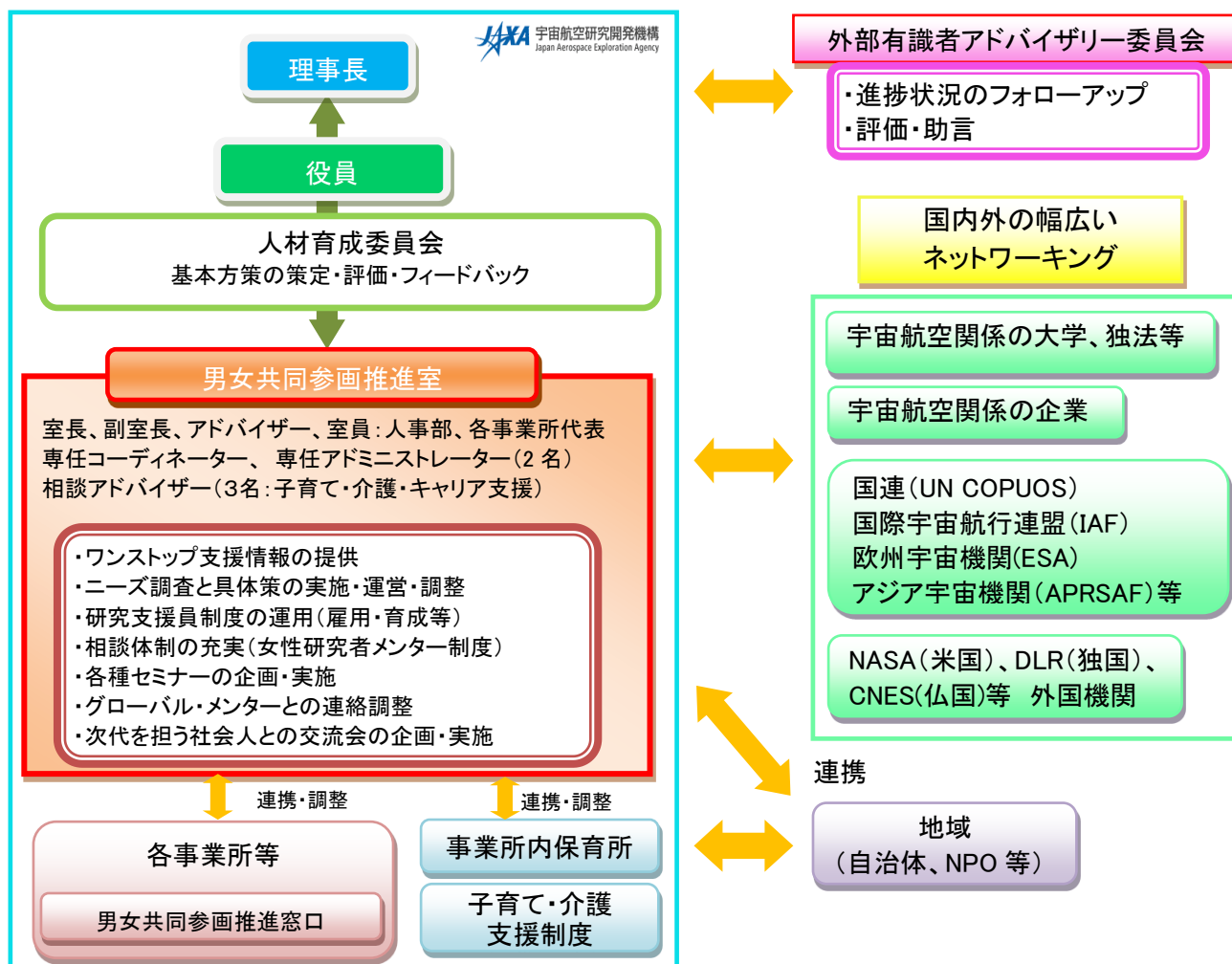
1.2 達成目標

「女性研究者活動支援事業【一般型】」の適用期間である 3 年間の活動後の達成目標は以下の通りである。なお、活動開始前の平成 25(2013)年 3 月時点の女性研究者の在職比率:8.7%、採用比率:13.5%であった。

数値目標	達成のための方策
採用・登用の目標	
在職比率を 12%以上	採用率・離職率の改善
採用者比率を 18%以上	「同等の能力では、女性優先」の方針。支援環境・制度の広報。公募方法の工夫
教授相当者の採用(現状ゼロ)	募集/審査方法の工夫
子育て・介護による離職率をゼロ	支援体制・情報の整備
研究開発力の向上	
競争的研究資金獲得額を2倍以上	研修体系の強化、 メンター制度、セミナー等
論文投稿等の件数を 1.5 倍以上	

1.3 実施体制

活動を実施するための体制を以下に示す。



(1) 室員構成

室長、副室長、室員はJAXA職員で構成している。平成28(2016)年1月31日現在の室員は33名(室長1名、副室長1名、東京事業所3名、筑波事業所8名、相模原事業所4名、調布事業所8名等)である。

平成27年度の専任コーディネーター、専任アドミニストレーター、専任アドバイザーは以下のメンバーとなっている：

- ・コーディネーター 真田智子 (平成26年12月1日～平成28年1月31日)
- ・アドミニストレーター 常田道恵 (平成26年8月1日～)
- ・アドミニストレーター 高橋真美 (平成26年11月1日～)
- ・アドバイザー(子育て・介護) 久次奈美 (平成25年12月1日～)
- ・アドバイザー(研究・交流) 菅原香代子 (平成25年12月1日～)
- ・アドバイザー(制度) 原陽介 (平成26年2月1日～平成28年2月9日)

(2)外部有識者アドバイザー委員会

外部有識者アドバイザー委員会の構成メンバーは以下のとおりである。平成27年度は平成27(2015)年10月29日に第1回委員会を開催した。平成28(2016)年3月3日に第2回委員会を開催する予定である。

・外部有識者アドバイザー委員

委員長:

名取 はにわ氏 公益財団法人人権擁護協力会 理事
(元内閣府男女共同参画局長)

委員:

市原 健一氏 つくば市長
鹿嶋 敬氏 一般財団法人女性労働協会会長
佐々木 かをり氏 (株)イー・ウーマン代表取締役社長
藤井 浩美氏 日本電気株式会社 コーポレートコミュニケーション部
エグゼクティブエキスパート
三浦 春政氏 国家公務員共済組合連合会 常任理事
水本 伸子氏 株式会社IHI執行役員
宮浦 千里氏 国立大学法人東京農工大学教授・副学長

【主な活動実績】(時系列・項目別)

3.1 環境整備等

- 4月 3日 新室長就任
- 5月12日 病児・病後児保育ベビーシッター面談会【調布】
- 8月 1日 子育てに関する制度改正(対象者の範囲拡大)
- 8月31日 Women@JAXA 第4号発行
- 10月27日 Women@JAXA 第5号発行
- 10月29日 第1回男女共同参画外部有識者アドバイザリー委員会の開催【東京】
- 12月24日 Women@JAXA 第6号発行
- 2月19日 Women@JAXA 第7号発行(予定)
- 2月29日 Women@JAXA 平成27年度総集編発行(予定)
- 3月 3日 第2回男女共同参画外部有識者アドバイザリー委員会の開催(予定)

3.2 交流会・セミナー・シンポジウム等

- 4月18日 筑波宇宙センター特別公開「私の仕事と生活(講演・座談会)」【筑波】
- 4月19日 調布航空宇宙センター一般公開
「理工系職員が語る私の仕事(講演)」【調布】
- 6月25日 JST 資金制度(CREST/さきがけ)説明会協力【相模原】
- 7月14日 子育て支援に係るランチ会合【筑波】
- 7月24日、25日 相模原特別公開
「理工系職員が語る私の仕事(講演)」【相模原】
- 7月28日 科研費説明会(事務方向)参加【筑波】
- 8月30日 科研費説明会協力【相模原】
- 10月 3日 ロケット協会主催「宙女」キックオフイベント(講演・協力)
【三菱みなとみらい技術館】
- 10月 7日 第2回介護セミナー「離れて暮らす親の介護～仕事と介護の両立～」
【筑波】
- 11月16日 「女性研究者のためのグローバルメンタリング研修」【筑波】
- 2月17日 第2回子育てセミナー「イマドキ子育て世代のための仕事にも家庭にも生きる実践術」【筑波】
- 2月25日 グローバルメンター DLR長官との意見交換会【東京】(予定)
- 3月17日 第3回介護セミナー【筑波】(予定)

3.3 裾野拡大・その他

- 5月31日 東京理科大学「Woman×Science day」ブース出展
【東京理科大学葛飾キャンパス】
- 6月 9日 茨城県知事公室女性青少年課（男女共同参画室担当）との意見交換
- 6月11日 日本病児保育協会「となりの病児保育」取材対応
（日本病児保育協会 web 掲載）
- 6月29日 室蘭工業大学「キャリア形成のためのランチセミナー」講師
【室蘭工業大学】
- 7月 7日 アリゾナ州立大学との意見交換会【相模原】
- 7月 8日 ワークスタイル変革 EXPO 参加
- 7月13日 KDDI社との意見交換会
- 7月18日～20日 江の島 EX 塾参加
- 8月 7日 TOKYO FM「東京まちかど☆天文台」出演
- 7月31日～12月20日女性アーカイブセンター企画展示「宇宙をめざす」協力
【国立女性教育会館】
- 8月20日 IBM社との意見交換会
- 9月 1日 丸紅との意見交換会、テレワーク推進フォーラム参加
- 9月 9日 電通との意見交換会
- 9月30日 東工大テクノガールズ（東工大女子学生グループ）によるOG訪問
・仕事紹介【筑波】
- 10月 9日 マイクロソフト社との意見交換会
- 12月25日 日本政策金融公庫との意見交換会
- 1月25日 日本政策金融公庫「東京ブロックアワード」にオブザーバ参加
- 2月23日 原子力機構との男女共同参画に係る意見交換会（予定）

平成 27(2015)年度8月以降、育児・介護およびテレワーク先進企業への制度ヒヤリングを実施した。

平成 27(2015)年4月から平成 28(2016)年2月上旬まで、合計 21 回の定例会を開催し、各チームの活動状況、企画案、今後の予定と進捗状況の確認など室員間の意見交換・情報共有を行った。チームにより取り組みを行った項目は以下の通り。

- ・制度整備／IT 活用
- ・研究力向上
- ・病児病後児保育
- ・数値目標達成
- ・グローバルメンター及びメンタリング
- ・介護